

MICE 推進関係府省連絡会議(第1回)
議事録

日時：平成28年12月21日(水)10時00分～10時42分

場所：中央合同庁舎3号館4階 特別会議室

構成員：

- 【議長】 田村明比古 観光庁長官
- 【構成員】 松永 明 内閣官房内閣審議官(内閣官房副長官補付)【欠席】
井内 正敏 内閣府大臣官房総括審議官
下川眞樹太 外務省大臣官房国際文化交流審議官
(代理)四方 明子
外務省大臣官房広報文化外交戦略課企画官
- 森本 浩一 文部科学省国際統括官
(代理)匂坂 克久
文部科学省大臣官房国際課長
- 勝田 智明 厚生労働省大臣官房総括審議官(国際労働担当)
(代理)大鶴 知之
厚生労働省大臣官房国際課長
- 安藤 久佳 経済産業省商務情報政策局長
(代理)竹内 芳明
経済産業省大臣官房審議官
- 栗田 卓也 国土交通省都市局長
(代理)望月 一範
国土交通省都市局まちづくり推進課長
- 【オブザーバー】小堀守 日本政府観光局(JNTO)理事
- 【事務局】 瓦林 康人 観光庁審議官
田中 由紀 観光庁国際観光課長
辺見 晋弘 観光庁国際観光課 MICE 推進室専門官

1. 開会

- 開会挨拶（田村長官）
- 構成員紹介（事務局：辺見）
- 「MICE 推進関係府省連絡会議」設置(案)説明（事務局：辺見）

2. 観光庁資料説明（田中課長）

3. 構成員メンバーによる意見

井内 内閣府大臣官房総括審議官

- ・ 内閣府は所管している公的施設は少ないが、迎賓館については一般公開や特別会館を既に行っている。今回はもっと幅広い形で学術会議との連携なども求められているようなので、どういう形で情報提供が可能か、ワーキングチームで議論させていただき、内閣府内でも議論したい。

匂坂 文部科学省大臣官房国際課長

- ・ 資料 20 ページにあるように、教育・科学やスポーツ分野などで協力できることはあり、文化庁やスポーツ庁等も含めて今後どういう協力が可能か、貴庁(観光庁)とも相談させていただきたい。

竹内 経済産業省大臣官房審議官

- ・ 資料 20 ページの内容についてワーキングチームで具体的に議論したい。重点分野を積極的に実施するのは理解できるが、それ以外の分野もバックアップしていくことを明示するメッセージを入れるべき。全体的に支援していくが、その中に重点分野があるという書き方が望ましい。

大鶴 厚生労働省大臣官房国際課長

- ・ 厚生労働省も情報収集に協力したいが、情報を集める上で、情報提供側の団体等にとってどのようなメリットがあるのか、教授いただけるとありがたい。

四方 外務省大臣官房広報文化戦略課企画官

- ・ 最後の資料にあるように、在外公館による支援に期待いただけるということで、できることを戦略的に行っていきたい。その際早めに情報を提供してもらえると、在外公館とも連携しやすい。
- ・ アジア各国の間で誘致競争が激化していると説明があったが、MICE に関する日本の優位性が分かりやすくまとまっている資料があると、在外公館に協力・連携を求める際に説明がしやすくなる。具体的には日本に MICE を誘致する上でのメリット、施設やサービスの質が一目で分かるよ

うなものであるとか、ユニークベニューのリストなどがたくさん提示できるようなものが望ましい。こういうものがあると、在外公館としても納得して誘致活動が支援できるのではないか。

望月 国土交通省都市局まちづくり推進課長

- ・ ハード面では例えば民間事業者が再開発を行う際に、国際会議場や外国人対応の医療施設などを整備する動きも出ている。ソフト面からはシティセールスのような、海外に対して都市の魅力を発信するといったようなことも行われている。そのような観点から MICE について連携していきたい。

4. 会議の今後の進め方について

■ 今後のスケジュールについて

- ・ 関係府省課長級のワーキングチームを平成 29 年度第 1 四半期までに 2 回程度開催。
- ・ 局長級会本会議を平成 29 年度第 1 四半期中目途として開催。

■ 資料と議事概要の公開について

- ・ 資料と議事録の公開について合意。

5. 閉会

以上